

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年12月5日

保護者アンケート回収率 75.86% (保護者の評価欄は回収分で占める割合です)

事業所名：すまいる・きつず曾根

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員は10人です。6月から新事業所で活動しておりますが、旧事業所より少し狭くなったものの、制作活動や身体活動(サーキット遊び・音楽体操等)など安全に行えるよう工夫をしながらスペースを十分に確保し有効に使用しています。また学習や訓練は、静かな環境で集中出来るよう別室で取り組んでいます。	はい…81.82% どちらともいえない…18.18% ・定員数に満たした時、以前より狭いかなと思う。 ・前の施設より少し狭い印象はありますが、色々工夫して頂いて体を動かさせています。 ・新しい事業所の療育のお部屋を見たことがないので分からない。	新事業所に移転する際には、保護者で見学会を開催し、事業所内をご案内させていただきました。また面談や担当者会議で来訪して下さった時にも、事業所内を見学して頂くようにしています。以前は親子行事を本所で行っていましたが、移転後は市内の公共施設を利用し、より広い環境で楽しい内容になるよう工夫しています。今後も安全な環境で楽しく活動出来るよう取り組んでいきます。
	2 職員の適切な配置	基準以上に人員を配置し、安全に過ごせるようにしています。	はい…100%	様々な変化等に対応出来るよう、引き続き十分な人員を配置を行い、児童に寄り添ったきめ細やかな支援を目指していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	新事業所になり、玄関以外はほぼバリアフリー化出来ています。また、キャビネットを契約児童の人数分準備して構造化することで、児童が当日の取り組み内容を理解し、先の見通しが立つように工夫しています。各部屋には視覚カード等を配置し、児童がスムーズに行動出来るよう環境整備しています。	はい…68.18% どちらともいえない…31.82% ・事業所内を見ていないので…。保護者会の時、見学があったそうですが。 ・新しい事業所の療育のお部屋を見たことがないので分からない。	項目1と同様、保護者で見学会を開催し、事業所内をご案内させていただきました。また面談や担当者会議で来訪して下さった時にも、普段児童がどのように過ごしているか説明しながら事業所内を見学して頂くようにしています。今後もそのような機会を増やしていきます。また安心して通所して頂けるよう、環境整備も継続して取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	職員業務マニュアルを月毎に見直し改訂しています。チェックリストを使用し、環境整備に漏れがないよう日々丁寧に清掃等を行っています。訓練道具・玩具等は適切に消毒を行っています。	今年度は厚労省のアンケート用紙を使用したため該当する項目がありませんでした。申し訳ありません。	今後も清潔に心地よく過ごせるよう継続して取り組んでいきます。
業務改	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日児童退所後に業務の振り返りを行ったり、月1回のスタッフ会議に全従事者が集まり、積極的に意見交換を行い業務改善につなげています。		今後も意見を出しやすい環境作りを行いながら、継続して取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2017年に第3者評価機構による評価を受け、評価内容はセミナーを開催し全従事者で確認し業務改善に繋げています。また、2018年には県による実地指導も受け、同様に全従事者で確認し業務改善につなげています。		今後も定期的に第3者による外部評価を受け、業務改善を行っていきます。

善	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修については、年間計画を立て取り組んでいます。今年度は市民病院から出前講座に来て頂き「感染症対策研修」を開催するなど、更に内容を深めた研修を行っています。また内部研修だけでなく、県や兵庫協等の外部研修にも積極的に参加しています。内容についてはOJTとしてスタッフ会議等で、研修内容を発表・共有し、日々の支援に取り入れるようにしています。		来年度も研修計画を立てながら、様々な研修に積極的に参加し職員の資質の向上を行っていきます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時にはアセスメントを行い、モニタリングを繰り返すことにより児童・保護者のニーズも確認し、ケース会議で更に課題を分析しています。その後、放課後等デイサービス計画を作成し、保護者との面談で説明・調整し計画に同意を頂くようにしています。	はい…100%	今後もアセスメントを行い、モニタリングを繰り返すことで、児童と保護者のニーズを確認しながら課題分析し、放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	具体的な支援目標の中に、児童の状況に応じ、個別・集団活動を組み合わせる内容を計画に盛り込み、支援につなげています。		今後も児童の状況に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせる内容を盛り込み計画を作成していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達支援・家族支援・地域連携など大項目を決め、それぞれに具体的な目標を設定し、支援内容や留意事項・支援期間などを記載しています。		今後も具体的な目標や支援内容、留意事項や支援期間などを継続して記載していきます。
適切な支援の提	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画に沿った支援が出来るよう、面談で保護者に同意を頂き次第、児発管が全職員に計画内容を説明し把握が出来るようにしています。また計画内容を、個別記録表(フローシート)に記載し、日々計画内容を確認しながら支援出来るようにしています。	はい…100%	今後も放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援を実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムについては、毎月スタッフ会議において、チーム全体で立案しています。その後、活動内容に計画書を作成し、取り組んだ結果や改善点などを報告書を作成しています。		今後もチーム全体で色々な視点からプログラムを立案していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日授業後と休業日ではサービス提供時間が異なります。利用状況や天候によって随時プログラムを変更しています。長期休暇には、児童の経験を積み重ねていくため、就労施設見学や工場見学、ドライブや映画上映体験、買い物学習、事業所間交流などを取り入れています。		今後も、平日、休業日の時間に合わせたプログラムを立案していきます。また長期休暇には、外出プログラム等を取り入れ児童の経験を増やし、共に楽しい時間を過ごし成長につながるよう支援していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	制作や学習、訓練だけでなく、サーキット遊びや音楽体操、ダンスやラジオ体操等の身体活動を取り入れたり、音楽療法(月2回)など外部講師に来て頂いています。児童手作りの楽器(ギロ)やハンドベルや太鼓などの楽器演奏を行うなど表現活動も取り入れています。また、月に1回クッキングも行っています。		今後も固定化しないよう、様々なプログラムを取り入れていきます。

供 (続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	時間を決めて、職員全員でミーティングを行っています。各プログラムの担当者・内容・支援目標などを決め、児童を受け入れる準備を行っています。		今後も継続して取り組んでいきます。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員全員で振り返りを行っています。児童・指導員の良かった点、悪かった点、改善点・ヒヤリハット等を話し合い、次回の支援に生かせるよう記録に残しています。また保護者からご連絡頂いた内容などを報告し、情報共有出来るようにしています。振り返りの記録は、翌日出勤した職員も必ず確認し、情報共有するようにしています。		今後も情報の共有化が出来るよう、継続して取り組んでいきます。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援の内容は、個別記録表(フローシート)に記録しています。その記録をもとに、モニタリングやケース会議を開催したり、支援計画の立案に役立てています。		今後も継続して取り組んでいきます。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングやケース会議を行い、保護者に内容を説明させていただいております。その際、学校や家庭での様子をお伺いし、本人・保護者のニーズも盛り込みながら放課後等デイサービス計画を見直すようにしています。		今後も継続して放課後等デイサービス計画の見直しを行ってまいります。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	保護者・学校・相談支援専門員・関連事業所などと連携し統一した支援が行えるよう、サービス担当者会議へは積極的に参加させていただいております。基本的に児発管が参加しておりますが、必要に応じ直接支援している指導員も同行しています。		今後も保護者・学校・相談支援専門員・関連事業所などと連携しながら統一した支援を行えるよう積極的に参画させていただきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在は児童発達支援事業は休止中のため行っておりません。		現在は児童発達支援事業は休止中のため行っていません。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	在籍児童の最高学年が中学2年生で対象がいないため行っておりません。		卒業する児童が在籍する場合には、保護者に同意を得て、本所での支援内容などについての情報を提供してまいります。	

	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度ご案内頂きました研修については、積極的に受講させていただき、今後(2020年1月)も受講予定です。		今後も継続して積極的に受講を促進していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	放課後児童クラブや児童館との交流は、現在行えていません。	はい…40.91% どちらともいえない…50.0% いいえ…9.09% ・放課後デイで交流の必要性はないと思います。 ・私はなくても大丈夫です。	児童・保護者のニーズを考慮し、検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所移転後は地元自治会に入会し、事業所についてご理解頂くとともに、災害時の連携などお願いしております。また地域への発信として、児童の作品を「高砂万燈祭」に出展させていただいたり、ユアアイ帆とセンターセンターに掲示して頂いております。		今後も地域行事等に児童の作品を出展する等、まず知っていただきご理解いただくところから取り組んでいきます。また地域に開かれた事業の運営を行うため、保護者の同意を得ながら地域住民の招待などを検討していきます。
保護者への説明責	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容・利用者負担等につきましては、重要事項説明書に記載し、契約時に内容を説明しております。また行事等で自己負担が発生する時には、事前にご連絡させていただいております。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に放課後等デイサービス計画を作成し、説明後同意を頂いております。その後は6か月に1回(必要な時には随時)計画を見直し、面談で説明し同意を頂いております。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	通所日に持参して頂く連絡帳を通して、成果があったことをお伝えしています。また面談時や担当者会議、送迎時などにも直接お伝えしたり、随時お電話でも対応させて頂いております。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	通所日の児童の状況や課題について、連絡帳や送迎時にお伝えしています。また定期的にモニタリングを行い、保護者に直接お伝えし共通理解すると共に、必要な課題は放課後等デイサービス計画に盛り込むようにしています。	はい…100% ・発達について困ったことがあると、いつでも相談にのってもらえ、私達の知りえない情報を教えてくれたり、提案してもらえるので大変心強く感じています。	今後も継続して保護者と共通理解出来るよう取り組んでいきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な面談だけでなく、相談には随時対応し、保護者の思いに寄り添うようにしています。また必要な時には学校や相談支援専門員、関連事業所と連携し対応出来るようにしています。	はい…100% ・発達について困ったことがあると、いつでも相談にのってもらえ、私達の知りえない情報を教えてくれたり、提案してもらえるので大変心強く感じています。	今後も保護者の思いに寄り添いながら、継続して支援していきます。

連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は年に1回開催しています。また夏休みに1回、12月に1回親子行事を行い、保護者同士の交流が出来る時間を設けるようにしています。	はい…77.27% どちらともいえない…22.73% ・夏の思い出作りの時の保護者交流がとても楽しかったです。 ・夏休みの交流会には出席。保護者会の案内がなかったので、出席できなかった。	現在の取り組みに加え、保護者同士の連携が出来る取り組みを検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談マニュアルに沿って、迅速かつ適切に対応出来るようにしています。契約時には、本所だけではなく、行政機関を含めた苦情窓口を必ず保護者にご案内するようにしています。	はい…90.91% どちらともいえない…9.09% ・苦情を出していないので、よく分からないが、他の家庭から出た内容は知りません。	今後は契約時だけでなく、保護者会などで周知出来るようにしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉がけではなく、視覚カードや手話、マカトンサイン等を使って視覚的に理解しやすい方法で意思疎通や伝達を行っています。保護者への連絡については、日々の連絡帳やお便り等の文書、電話などでお伝えしています。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回お便りを発行し、文章だけではなく写真を盛り込んだ形で活動内容の報告や、今後の行事予定、各種書類についてのお知らせ等を掲載しています。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所建物の施錠だけではなく、書庫にも施錠をする等厳重に取り扱っています。また取り扱いについては、契約時に書面で同意を頂くようにしています。写真の取り扱いについても、事前に同意を頂くようにしています。	はい…100%	今後も個人情報の取り扱いについては、十分に配慮し対応していきます。
非常時等の	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定済みで、研修を行うなど職員への周知は行っています。ただ、保護者への周知には至っておません。	はい…90.91% どちらともいえない…9.09%	今後は各マニュアルの周知徹底が出来るよう、事業所で閲覧できる環境作りと、保護者会などで周知出来るようにしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難できる力を身につける為、日々の活動の中に集団行動を取り入れ、避難時スムーズに行動出来るようになっていきます。また今年度は様々な災害を想定し、年5回の訓練を計画し、3回実施済みです。内容としましては、6月は水害避難訓練、8月は加古川防災センターにて地震体験、煙避難体験、消化体験(水消火器)をしました。9月には火災避難訓練を実施し、通報訓練など消防署にもご協力頂きアドバイスを頂きながら実施しました。	はい…95.45% どちらともいえない…4.55%	今後も継続して様々な災害に対応出来るよう、多様な災害を設定した訓練を行っていきます。また、その内容を連絡帳やお便りを通じて報告していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	研修計画に盛り込み、社内研修を行ったり外部研修にも積極的に参加し、虐待防止に努めるようにしています。またスタッフ会議や日々の振り返り等で、話し合う機会を意識的に持つようになっています。		今後も社内・社外研修に積極的に参加し、全従事者で日々意識を持ち、適切な対応が出来るよう取り組んでいきます。

対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議等で事例を確認・検討し、放課後等デイサービス計画に記載するようにしています。また計画への同意を頂く際に、その内容を保護者に説明し同意を頂くようにしています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時のアセスメントや放課後等デイサービス計画の面談時に、アレルギーの有無や対応方法を必ず保護者に確認しています。現在は対象児童は在籍していませんが、薬の飲み合わせ等に配慮する児童は在籍していますので、保護者に確認のうえ(処方箋のコピーを頂くなど)、職員に周知し対応しています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった際には、職員全員で把握し今後の支援に生かすようにしています。また事例集はファイリングし、いつでも職員が見られるようにしています。		今後も安全に安心して過ごせるよう、ヒヤリハット事例集を更新し取り組んでいきます。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	放課後を児童・職員共に楽しく過ごそうと、日々プログラムを工夫しています。制作や学習、訓練だけでなく、クッキングや音楽療法、身体活動やドイツゲーム等の集団活動も取り入れています。	はい…94.45% どちらともいえない…4.55% <ul style="list-style-type: none"> ・支援員さんたちを身内のように感じ、楽しみにしている様です。 ・毎回行きたくて、仕方ありません。 ・日によります。疲れている時など、帰ってきた時機嫌が悪い。 ・とても喜んで通っています。 	今後もプログラムを工夫し、安心して楽しい放課後を過ごせるよう環境設定にも取り組んでいきます。
	2	事業所の支援に満足しているか	毎月のケース会議だけでなく、児童退所後は必ず振り返りし、児童一人一人の発達特性について理解を深められる様にしています。また変化が見られた際には連絡帳やお電話、送迎時に保護者にもお伝えし情報共有出来るようにしています。またプログラムを工夫し、様々な経験を重ね成長につなげられる様に取り組んでいます。	はい…100% <ul style="list-style-type: none"> ・小1から通所しており、活動内容や環境だけでなく、手厚いサポートにも大変満足しています。 ・いつも楽しく通所させていただいています。クッキングや制作など、色々考えて頂いて出来る事が沢山増えました。リラックスして過ごせる場所になっていて、とても嬉しいです。 ・少しでも課題が解決するよう親身になって支援してもらい、感謝しております。 ・曜日を増やしてもらいたいです。 	今後も一人一人の発達特性を理解し、子ども達の成長につながるよう様々な経験を共に重ねながら継続して支援していきます。